

プレスリリース

令和8年6月11日

報道関係者各位

独立行政法人国立科学博物館

総合地球環境学研究所

国立科学博物館×総合地球環境学研究所 共同企画展 「どうする、ニンゲン – 研究の現場から地球の未来を問う」 開催のお知らせ

国立科学博物館（館長：真鍋 真）及び総合地球環境学研究所（所長：山極 壽一）は、2026（令和8）年7月31日（金）から9月23日（水・祝）までの期間、下記のとおり、国立科学博物館×総合地球環境学研究所 共同企画展「どうする、ニンゲン – 研究の現場から地球の未来を問う」を開催いたします。

また、開催に際し、7月31日（金）に本展監修者である国立科学博物館 前館長 篠田謙一と総合地球環境学研究所 所長 山極壽一によるオープニングトーク、および研究者らによるオープニングイベントを実施いたしますので、併せてご案内申し上げます。

国立科学博物館では動物や植物の収集活動を続けており、その中で近年の環境変動が生物相に与える影響の大きさを目の当たりにしてきました。地球環境をめぐる問題は、科博の活動に直結しており、私たちは絶滅が危惧される生物の保護活動にも取り組んでいます。

一方、この問題は自然だけでなく、人間の社会や文化とも深く関わっています。そこで、地球環境問題を人と自然の関係はどうあるべきか、という「人の生き方」の問題と捉え、解決の糸口を探る活動をしている総合地球環境学研究所と共同で企画展を行うことにしました。本展は、総合地球環境学研究所がこれまで行ってきた研究の事例や活動を紹介し、人と地球の関係についてあらためて考える機会を提供します。



記

【企画展名称】国立科学博物館×総合地球環境学研究所 共同企画展

「どうする、ニンゲン – 研究の現場から地球の未来を問う」

【開催場所】国立科学博物館（東京・上野公園）日本館1階 企画展示室及び中央ホール

【開催期間】2026（令和8）年7月31日（金）～9月23日（水・祝）

【開館時間】9時～17時 ※8月9日（日）～8月15日（土）は18時まで ※入館は閉館時刻の30分前まで

【休館日】9月7日（月）、9月14日（月）

【入館料】一般・大学生：630円（団体510円）、高校生以下および65歳以上：無料

※本展は常設展示入館料のみでご覧いただけます ※団体は20名以上

※入館方法の詳細については当館ホームページをご覧ください <https://www.kahaku.go.jp/>

【主催】国立科学博物館、総合地球環境学研究所

【関連イベント】オープニングイベント（申込期間6月25日～7月3日）ほか実施

※一般来館者向けにはWEB申込を実施いたします。報道関係者の方はご遠慮ください。

※報道関係者の申込については下記【お問合せ】アドレス向けに参加者の【氏名・ご所属】をお書き添えのうえご連絡ください。

※詳細は当館ホームページで公開＜<https://www.kahaku.go.jp/tenji-event/nid00003904.html>>

【お問合せ】国立科学博物館 展示部 企画展示課 企画展担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

TEL：03-5814-9887 FAX：03-5814-9898 E-mail：kikakuten@kahaku.go.jp

「どうする、ニンゲン –
研究の現場から地球の
未来を問う」チラシ表面

【国立科学博物館監修者】



国立科学博物館 前館長 篠田 謙一

国立科学博物館前館長。

専門は分子人類学。古人骨に残る DNA を分析して、日本人の起源や世界各地の集団の成立について研究している。

【総合地球環境学研究所監修者】



総合地球環境学研究所 所長 山極 壽一

専門は人類進化論、霊長類学。人間の社会や文化がどの様に作られたかを進化史をさかのぼって探求し、未来の人間の社会や文化のあるべき姿を模索している。



総合地球環境学研究所 教授 近藤 康久

専門は考古地理学。中東のオマーンで 20 年近くにわたり遺跡調査を続けている。また、人文学・社会科学・自然科学の総合研究や、学術と社会の協創の方法論にも関心をもって探究している。



総合地球環境学研究所 特任教授 谷口 真人

専門は地下水学・水文学。複雑に絡み合う地球環境問題を解決するために、人と社会、自然との連環を明らかにし、ステークホルダーとの共創を通じて未来社会のあり方を追求する研究プログラムを推進している。



総合地球環境学研究所 副所長 陀安 一郎

専門は同位体生態学。同位体情報をツールとして、生態系の中に生物を位置付け、周りの環境との関係性を解き明かすことで、新たな見方を取り入れることができる同位体環境学の研究をしている。



総合地球環境学研究所 特任教授 松田 素二

専門は社会人間学、アフリカ地域研究。地球環境問題の解決のために、先進的な科学技術に頼るだけでなく、科学と文化の接合を通して新しい価値観と生き方を創造する研究プログラムを推進している。